

千手堂山中に条例違反の埋め立て

「埋め立て0.2mより許可制」の条例改正を

代執行で原状回復を

再び埋め立てが！

農産物直売所より遠山方面へ約700m先の山中に、土砂の埋め立てが行われました。事業者は「絆プランニング」です。

当社は平成3年に約600㎡の土砂が埋め立てられた場所で、うち63㎡の土砂が流出した所です。そのような場所に再び土砂（コンクリートなど含んだ建設現場から）と思わ

れる土砂（産業廃棄物）が埋め立てられました。大雨が降ると大量に流失する恐れがあります。土砂の埋め立ては止められなかったのでしょうか。

7月10日過ぎに土砂の埋め立てが始まり、14日に共産党の川口議員が現地確認したところ300㎡を超えていると思える量の埋め立てがありました。

7月21日、安藤副町長・環境農政課の職員は業者立ち合いの元で測量したところ、明らかに許可不要範囲内を超えていると判断。「事業停止命令」を出し、やっと埋め立てが止まりました。

翌21日、安藤副町長・環境農政課の職員は業者立ち合いの元で測量したところ、明らかに許可不要範囲内を超えていると判断。「事業停止命令」を出し、やっと埋め立てが止まりました。

（平成12年暴力団排除条例制定）

沼が埋まり始めた



「0.2mより許可制」の条例改正を

Q：今後のために0.2mから許可制にすべきではないか。

町：簡易な造成もあり、考えていない。

Q：茨城県茨城町では0.2mからにして防いだ。条例改正が防止になる。簡易なものは、例外規定に入れればよい。

町：検討したい。

10月27日、川口議員が現地を見に行くと、ブルーシートの残骸と盛り土がまだ残っていて、全く片付いた形跡はありません。21号台風でかなりの量が流れていて、至急原状回復をしなければなりません。念のため池の方も見たら、流出した土砂が中州を作っていました。今後このような事を発生させないために、また町の自然を違法な埋め立てから守るため奮闘していきます。

9月議会 大崩落の前に代執行で土砂を撤去をすべき

川口議員が一般質問

7月町長に「事業停止」の申し入れ
20日、河井議員・渋谷議員・川口議員で岩澤町長に「事業の停止」をす



大崩落の前に

町が代執行を

Q：今回の埋め立て量は？
町：約1700㎡。
（これは許可不要範囲内の6倍）

Q：なぜ見過ごしたか？
町：業者の300㎡を信

Q：台風シーズンを迎え大きな崩落につながる

Q：代執行を含め、至急の原状回復を？
町：8月18日に「原状回復命令」を出した。期限は10月31日です。

町：業者の返事を待ちたい。

町：業者は暴力団関係者か？
町：提出書類にその項目がないので不明。

る恐れが。代執行で土砂の除去をすべきだ。

町：業者の返事を待ちたい。

町：業者は暴力団関係者か？

町：提出書類にその項目がないので不明。

今回の事は、悪質業者によるものですが、同時に条例を守らせる事が出来なかった町にも、重大な責任があります。大量流失が起こる前に土砂の除去をすべきですが、その考えを町が示さなかったのは、流失も仕方ないと言ったことです。

日本共産党発行



月刊 3497円
日曜版 823円